

年輪

NENRIN

特別養護老人ホーム
茂庭苑
第70号
令和3年5月

年輪 第七十号 令和三年五月発行

発行元…社会福祉法人 宮城県福祉事業協会 特別養護老人ホーム 茂庭苑

編集…株式会社 日新



春の新たなスタートです。

十分な食事と質のいい睡眠、

そして心の安定を大切に。

社会福祉法人 宮城県福祉事業協会

活動日:3月12日



茂庭苑 地域貢献活動

地域の環境の一部として、
そして地域の一員として。

まだまだ早朝の寒さが厳しい中でしたが、いつもお世話になってる周辺地域の美化活動を実施しました。車で通過することが多いこの道も、いざゆっくりと歩いてみると吸い殻やお菓子の袋等々のゴミが…。普段は見落としていたんだなと反省しました。こうして地域清掃に参加することで改めて自分たちが地域の一員であり、施設がこの地域の環境の一部なんだということを感じることが出来る、心の美化活動にも繋がる時間となりました。

編集
後記

■サービス向上委員会（広報委員会）

菅田 和美 堀江 貢助 内海 英恵 川名 崇 杉浦 稔 大槻 聖美
佐藤 明子 市川 明未

厳しい寒さから、穏やかな日差しが心地よい季節になってまいりました。第70号では、コロナウィルスの影響で何かと通常通りにはいかない1年間ではありましたが、中でも利用者様の楽しい様子と輝く笑顔をお届けできる内容となっております。暗いニュースが続く中で、一筋の希望がここ茂庭苑から感じて頂けましたら幸いです。1日も早く終息することを願うばかりです。皆様もお体にご自愛下さいますように願っております。

社会福祉法人 宮城県福祉事業協会

特別養護老人ホーム **茂庭苑**

〒982-0252 宮城県仙台市太白区茂庭台2丁目15-20
TEL.022-281-1330 FAX.022-281-1357

- 短期入所事業……………TEL.022-281-1330
- 茂庭ダイサービスセンター……TEL.022-281-1378
- 茂庭シルバーハウジング事業…TEL.022-281-1330
- 茂庭地域包括支援センター……TEL.022-281-4115
- 茂庭居宅介護支援事業所………TEL.022-281-1422

<http://www.moniwaen.com/>

茂庭苑



お正月
書き初め



クリスマス



ホーム
喫茶



ビューティー
サロン



茂庭苑の

Moniwaen
秋・冬

生活風景

生活お楽しみ(行事)

感染予防に努めながら
苑内で楽しんでいただけ
るもので、お楽しみ時間
を過ごされています。

- 運動会
- 製作(季節の飾り物)
- ふれあい(笑顔)
- 長寿を祝う会
- ホーム喫茶
- ビューティーサロン
- クリスマス
- お正月・書き初め



運動会

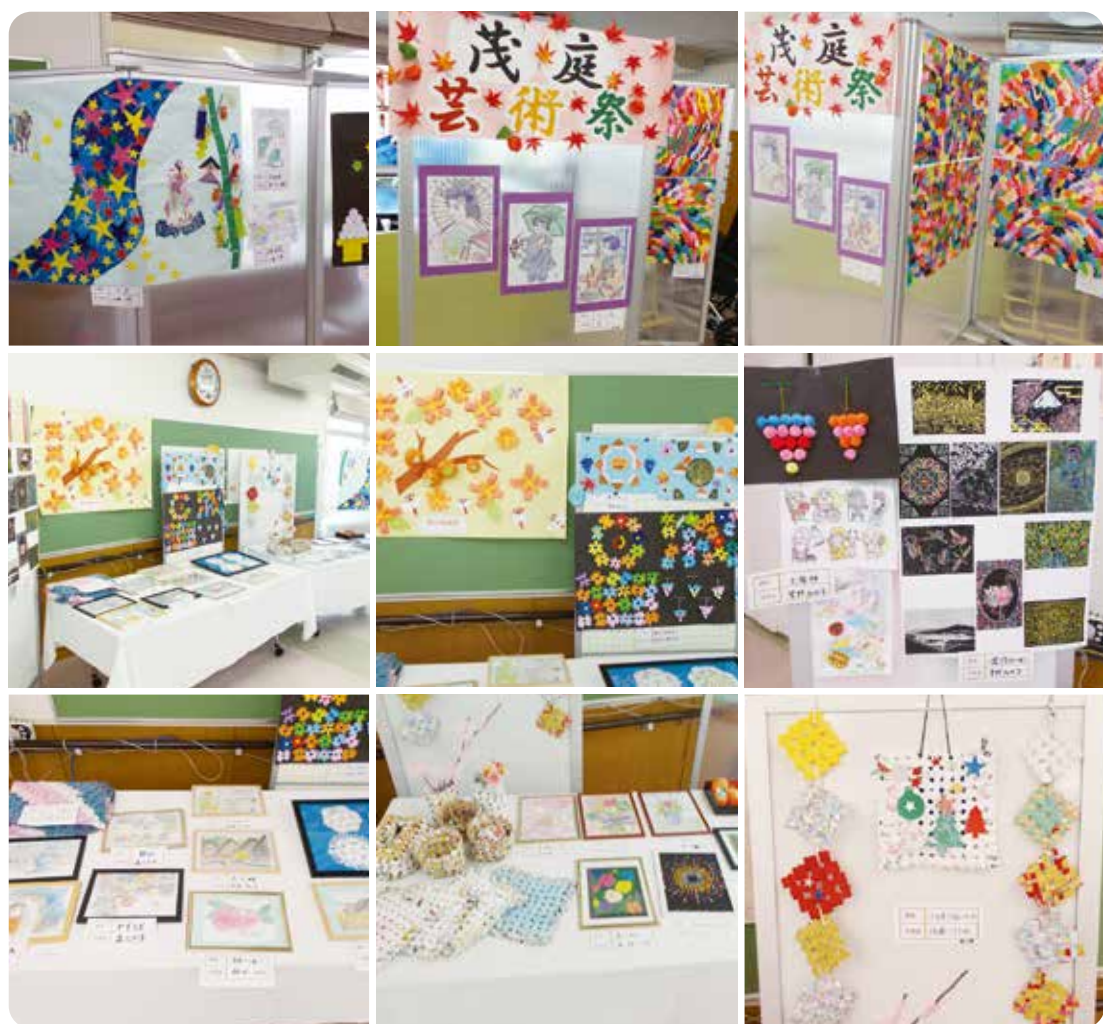


長寿を
祝う会



製作





茂庭苑 芸術祭

佐藤 けさみ 様
 ただ家でぼーっとしているより、人に喜ばれることをしようと思って始めた小物作りが今では生きがいとなっています。人の喜ぶ顔を見るのが何よりも嬉しいです。
 出品者

及川 昭男 様
 折り紙で、思いっくまに作っています。これからもたくさんの作品を作っていこうと思います。
 出品者

日々の生活の中で、利用者の皆様が制作した作品を、これまでは茂庭台市民文化祭に出品し、地域の皆様に見てもらうこと、また文化祭へ行き、地域の皆様の作品を鑑賞することも毎年の楽しみとなっていました。

今年はコロナ禍で文化祭が中止となったことから、施設内で楽しむことができる方法を…。と、苑内で「茂庭芸術祭」を開催する運びとなりました。皆様の力作を1週間ずつ各フロアに展示し、皆様で作品を鑑賞することができました。素晴らしい芸術作品を是非ご覧ください。

ふれあい



庄子みのる様
100歳

半澤とも様
101歳

ご長寿
自慢

坂本キヨ様
102歳

橘トモエ様
101歳

『地域の皆さんと一緒に』

今回は、当センターが、地域の様々な方々と地域づくりを進めるために行っている取り組みとして、情報交換や話し合いの場についてご紹介します。

地域包括支援センターは、高齢の方が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護、福祉、健康、医療などさまざまな相談を受け付け、支援を行う地域の高齢者支援の窓口です。年齢を重ねても介護を受けずに過ごす「健康寿命」を長くするため、介護予防の取り組みや認知症のこと、高齢者の権利擁護（虐待や消費者被害など）についての普及啓発も行っています。また、介護認定のうち、「要支援1・2」と

事業対象者という認定を受けた方が、自立を目指しながら介護保険サービスを受けられるよう、ケアマネジメントを行うのも大きな役割の一つです。その他にも、「高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活を続けられる」よう、医療・福祉の専門職と「住民同士の支え合い」が手を結び合う「地域包括ケアシステム」の実現に向け、住民の方を主体とした地域づくりにも取り組んでいるところ です。

コロナ禍で改めて感じた
会って話すことの大切さ

コロナ禍においては、会議の開催についても、感染対策を徹底して行っております。

現在はまだ、ITを活用した会議開催はできていませんが、地域の方と直接会って、様々な話題から地域を考える機会を持つことは、何にも代えがたい貴重な時間だと、コロナ禍となり改めて感じております。また、日々ご協力をいただいている地域の方々には感謝の思いでいっぱいです。今後とも、地域の皆さんと一緒に『地域づくり』に取り組ませていただきます。



1 民生委員と 地域包括支援センターの 情報交換会

茂庭地域包括支援センター担当圏域の、生出中学校区と茂庭台中学校区を担当している民生委員の方々と、中学校区ごとに2ヶ月に1回情報交換会を実施しています。

お互いに相談を受けた内容について話しあったり、制度についてのミニ講話を行ったりしています。(写真右)地域包括支援センターとして、民生委員の皆さんをとっても頼りにしていますし、私たちだけでなく、地域で活躍しているケアマネジャーの方々とも連携が図れるよう、「民生委員とケアマネジャーとの交流会」も企画・開催し(写真左)、地域での高齢者支援のネットワークが広がっていくことを目指しています。

2

地域包括圏域会議

地域全体の高齢の方が抱える課題や支援のあり方を検討し、地域関係機関の連携促進やネットワーク構築を目的に行う会議で、年に数回開催しています。

茂庭台中学校区で、『茂庭台の防災体制』について会議を開催した時の様子(令和元年10月23日の様子)。

災害時は、高齢者が災害時要援護者になり得る可能性が高く、有事に備えた高齢者支援の在り方について協議を重ねています。参加者は、町内会会長、地区社協、福祉委員、民生委員、小学校、中学校校長・教諭、市民センター館長、地域の高齢者福祉施設関係者、と多くの方にご参加を頂きました。

